

報道関係者 各位

島根県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す  
遺伝子変異が検出された新型インフルエンザウイルスについて

島根県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスの分離が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

平成21年12月15日

島根県薬事衛生課

担当：成相、糸川

TEL：0852-22-6530

## 抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す 新型インフルエンザウイルスの確認について

島根県内で確認した新型インフルエンザ患者から分離された新型インフルエンザウイルスのオセルタミビル(商品名：タミフル)耐性遺伝子について調べたところ、オセルタミビル耐性マーカーH275Yが検出されましたので、その概要についてお知らせします。

なお、厚生労働省によれば、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響をおよぼすものではないとされています。

### 1 検査結果

島根県保健環境科学研究所の遺伝子解析の結果、オセルタミビル耐性マーカーH275Yが検出されました。

今回分離したウイルスは耐性株と感受性株が混在していました。このような検体では、正確な薬剤感受性試験ができない場合があります。このため国立感染症研究所による薬剤感受性試験では、オセルタミビルの感受性がやや低下しているとの検査結果となりました。

ザナミビル(商品名：リレンザ)については、感受性であることを確認しました。

### 2 患者の概要及び経過

75歳、女性、基礎疾患：糖尿病

11月18日 発熱のため診療所受診。

インフルエンザ簡易検査「陰性」であったが、患者周囲でインフルエンザが流行しているためインフルエンザを疑い、タミフル処方。その後36℃台に解熱。

11月22日 38℃台の発熱のため病院受診。

インフルエンザ簡易検査A(+)、ウイルス検査用検体採取。

息苦しさがありX線にて肺炎像を認め入院。

いったん解熱後の再発熱のため、タミフル耐性を疑いリレンザ処方。

11月30日 解熱、症状安定。

12月 7日 軽快・治癒により退院。

なお、患者周囲でインフルエンザの感染拡大や重症例、耐性が疑われる症例は確認されていません。

### 3 その他の検査状況

(1)現時点までに、島根県保健環境科学研究所で検出された新型インフルエンザウイルスの63株(検体)について遺伝子検査をしています。島根県においては、11月27日に報告した事例に続き2例目です。

(2)全国では昨日までに21例が確認されています。

本件は、平成21年10月8日付け厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部 事務連絡「新型インフルエンザ(A/H1N1)に係る今後のサーベイランス体制について(改訂版)」に基づき、新型インフルエンザウイルスの遺伝子解析等により、抗原性の変化や薬剤耐性を確認したことから、厚生労働省との連携のもと、公表を行うものです。

プライバシーを尊重した対応をお願いします。